

山梨県文学館協議会資料

平成21年10月14日(水)

山 梨 県 立 文 学 館

目	次	頁
山梨県文学館協議会委員名簿	1
山梨県立文学館組織図(平成21年10月1日現在)	2
SPSやまなし組織体制図 2009年6月～	3
山梨県立文学館活動報告(概要)	4
平成20年度 観覧者及び施設利用者集計表	5
施設利用状況(平成17年度～平成21年度)	6
県立文学館近年の決算額	7
教育普及事業実施状況及び閲覧室利用状況 (平成17年度～平成21年度)	8
開館20周年記念事業について	9
平成21年度企画展等一覧	10
展示室リニューアル前2階平面図	11
展示室リニューアル後2階平面図	12
平成21年度文学資料の購入について	13
平成21年度各種事業一覧	14～17

山梨県文学館協議会委員名簿

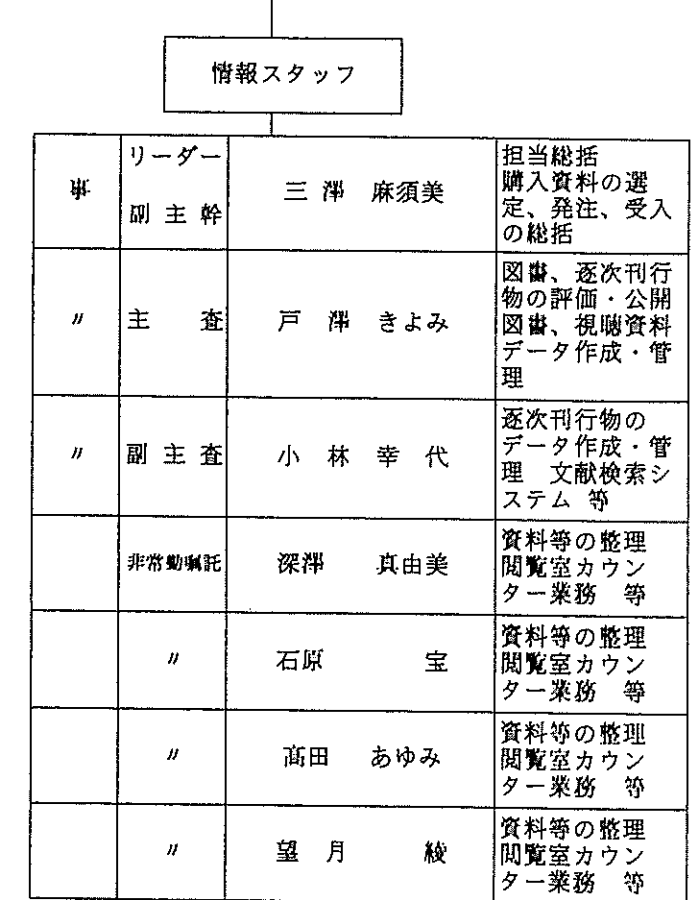
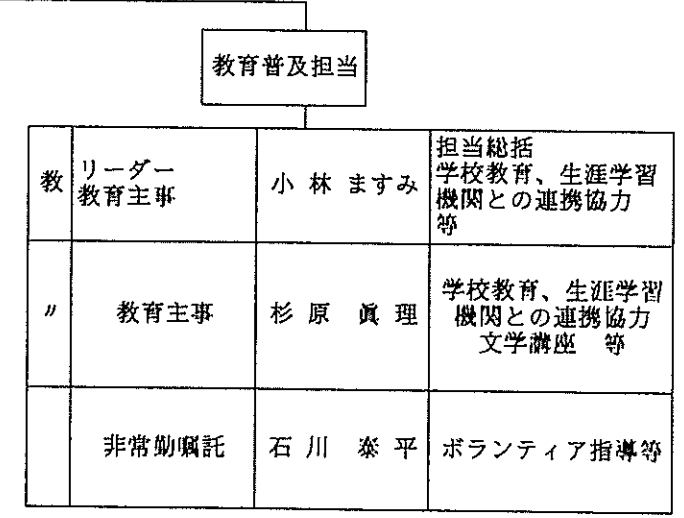
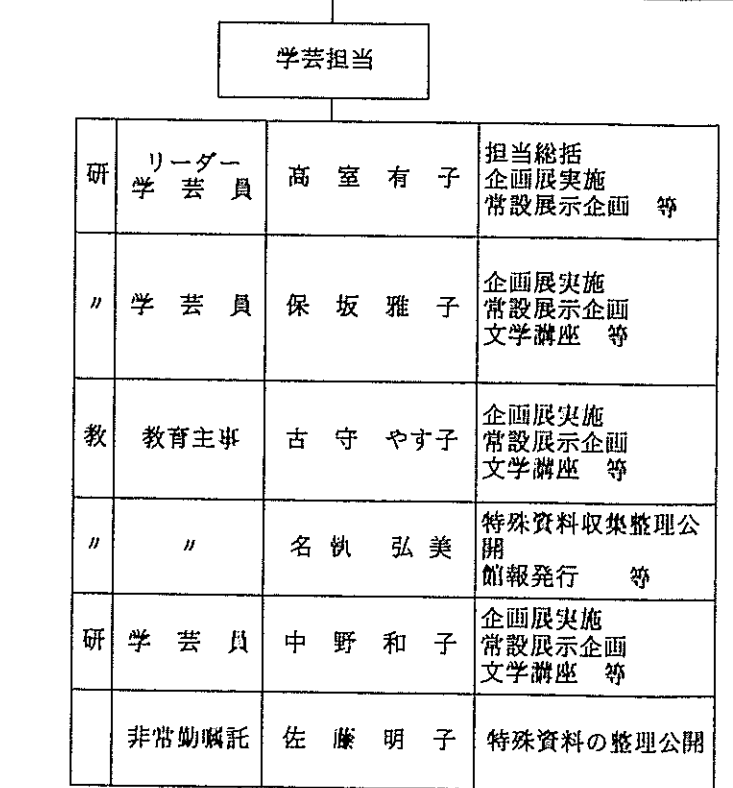
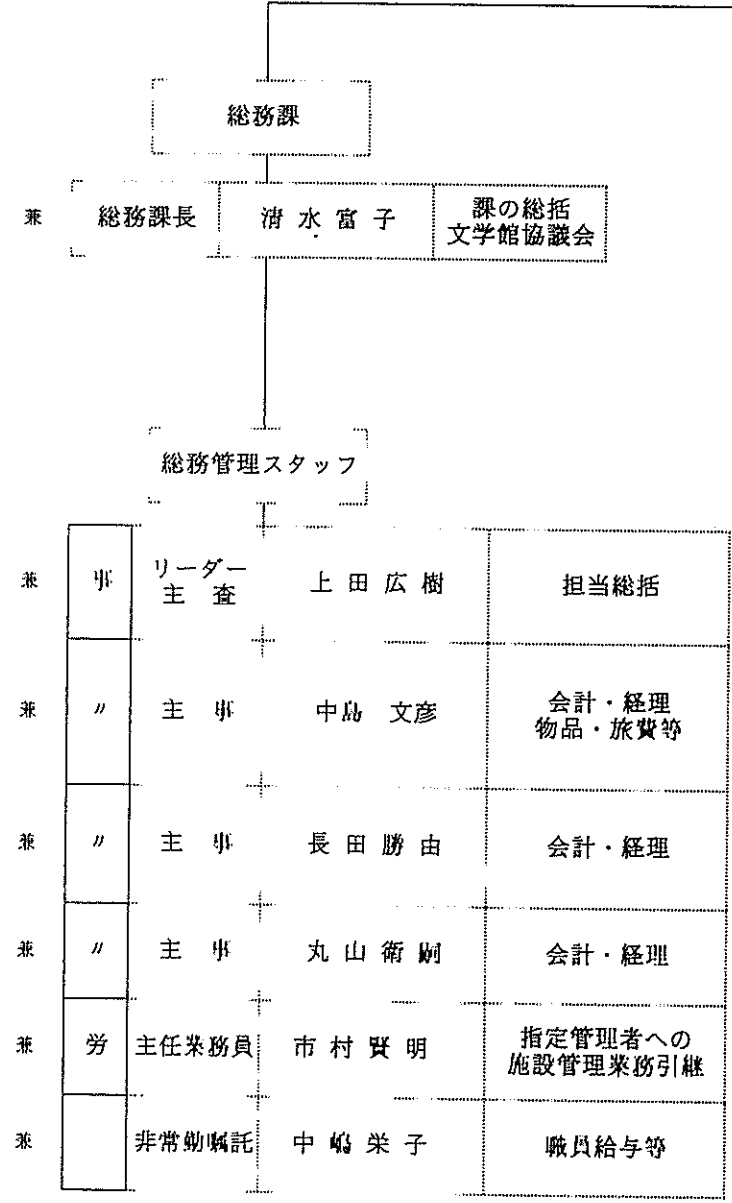
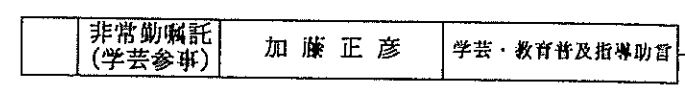
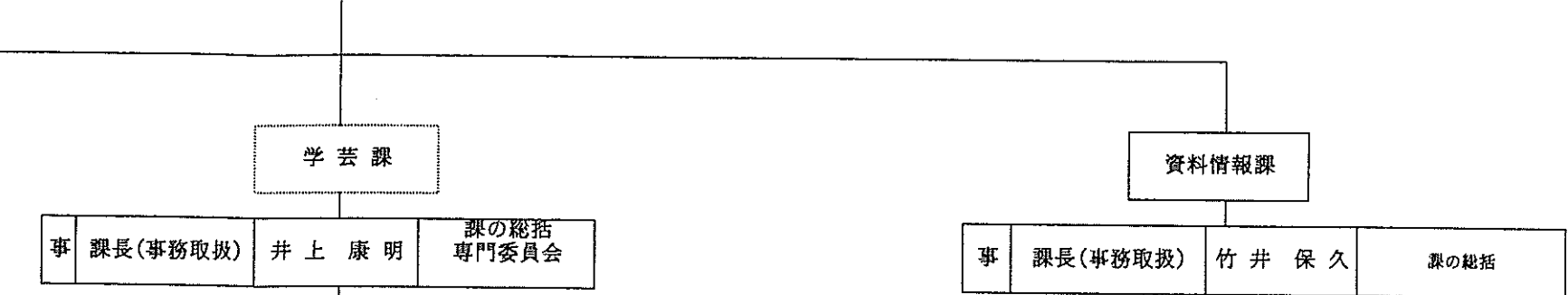
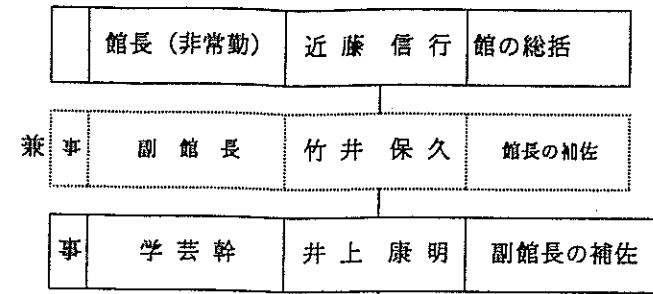
(任期：平成21年9月29日～平成23年9月28日)

区分	役 職	氏 名	出身分野（勤務先等）	備 考
委嘱	県市町村教育委員会連合会代表	いまむらちほるこ 今村千春子	社会教育関係（甲斐市教育委員長）	
〃	県社会教育委員代表	あかいけあずま 赤池あずま	〃（山梨県社会教育委員）	
〃	山梨文芸協会事務局長	みやざきよしひろ 宮崎吉宏	学識経験者	
〃	報道関係	むこうやまふみと 向山文人	〃（山梨日日新聞社 論説委員長）	
〃	〃	ふるやみちお 古屋未知男	〃（テレビ山梨 放送本部 報道制作局長）	
〃	〃	みやじゆきお 宮司幸雄	〃（NHK甲府放送局副局長）	
〃	山梨大学教授	はしもとあさお 橋本朝生	〃	
〃	山梨英和大学教授	いしだちひろ 石田千尋	〃	
〃	元県教育長	かずのつよし 数野強	〃（山梨ことぶき勸学院学院長）	
〃	公募委員	おのただし 小野正	〃（顧問事務所経営・元風林火山博統轄店長）	
〃	公募委員	みずがきあや 水垣彩	〃（サンニチ印刷コンサルティング事業室）	
〃	前中央市立玉穂生涯学習館館長	おとぐろゆきえ 乙黒幸江	家庭教育関係者	
任命	県公立小中学校長会代表	ますだひろみ 益田洋美	学校教育関係（甲州市立井尻小学校長）	
〃	県高等学校長協会代表	つじやすし 辻泰	〃（県立富士見支援学校長）	

文学館 組織図(H21. 10. 1現在)

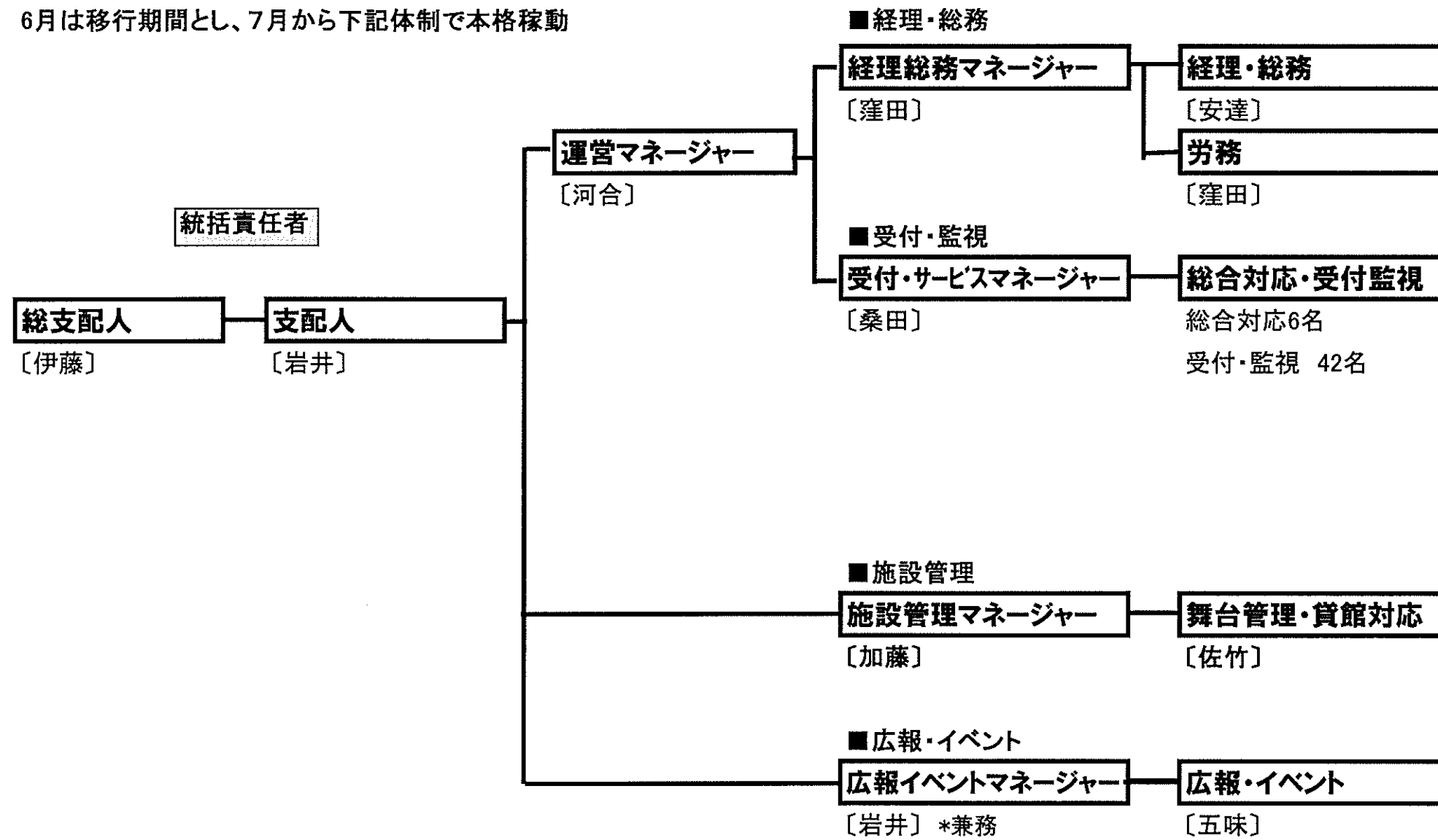
所属	山梨県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	計
18(兼7)	9(兼1)	0	27(兼8)

()は内数



SPSやまなし組織体制図 2009年6月～

6月は移行期間とし、7月から下記体制で本格稼働



本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。このようななか、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、

- 【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展と山梨県出身ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。
- 【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。
- 【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

◎ 平成21年度は、文学館開館20周年を迎え、記念イベントを実施し、情報発信を強力に行ってゆく。

平成20年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示への提供〉
 多様なニーズに応え、県民の知識教養の向上に資するため展示を実施
 〈常設展〉
 第1室 富士山と文学 小説（年間の前半）詩・俳句（年間の後半）
 第2室 山梨出身ゆかりの20作家のコーナー他 前半 漢詩・ジャーナリズム
 後半 小説・詩
 第3室 芥川龍之介 資料集草稿6～8週ごとに入れ替え
 第4室 飯田蛇笏 季節毎の展示替え
 〈企画展〉
 ○ 春 芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ ○ 秋 飯田龍太展
 〈特設展〉
 ○ すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」
 ◎ ミュージアム甲斐 in（会員）募集事業（県立美術館、博物館、文学館、考古博物館4館の常設展、企画展を購入日から1年間観覧できる年間パスポート発行）
 【教育普及／調べる】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉
 社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しむ、考えることのできる機会を提供する。
 ○ 学校教育、生涯教育の観点からの講座、講演会に加え、創作を志す若者の集いを開催、地元の作家を講師に20代の青年層を対象に小説、詩などの実作に資する機会とした。
 〈活動内容〉
 春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回
 特設展関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 子ども俳句教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク
 【閲覧室事業】
 資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供 ・知っていますか？山本周五郎賞・蛇笏、龍太が育てた雑誌「雲母」900号のあゆみ・生誕100年—太宰治と1909年生まれの文学者たち—命日にちなんだ資料紹介 ・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・方代忌・蛇笏忌・一葉忌・周五郎忌 書庫見学 6/21(30名) 11/20(28名)
 【創作／作る】
 〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施 応募：小説 296 研究評論 127
 【付加価値／憩う】〈魅力ある文学館〉
 季節の行事に寄せて 新緑・秋冷・梅見寄席 抒情歌のつどい2 邦楽のつどい3

平成21年度以降の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉
 開館20周年を契機に魅力向上をはかる展示を展開
 〈常設展〉
 第1室 富士山と文学 古典（年間の前半）秋山秋紅寥の世界（年間の後半）
 第2室 山梨出身ゆかりの20作家のコーナー他 前半 詩人15名 後半 歌人15名
 第3室 芥川龍之介 資料集草稿6～8週ごとに入れ替え
 第4室 飯田蛇笏 季節毎の展示替え
 ◎常設展示室リニューアルオープン（平成22年2月2日）
 ○飯田蛇笏・飯田龍太記念室を新設○第1室に樋口一葉コーナー新設○本県ゆかり出身作家の頭
 彰充実○展示・ソフト機能の拡充○収蔵名品展の開催
 〈企画展〉
 開館20周年記念・春「太宰治展 生誕100年」・秋「樋口一葉と甲州」展
 〈特設展〉
 ○ 開館20周年記念特設展 H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま 青い瞳の涙」
 ◎ ミュージアム甲斐 in（会員）募集事業 ◎ SPSやまなしとともにJR・県観光機構との連携等による積極的な広報
 【教育普及／学ぶ】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉
 社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しむ、考えることのできる機会を提供する。
 ◎ リニューアルオープンする常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室にちなみ、創作俳句教室を大人・こども向けに各実施
 ◎ 文化の森種まきプロジェクトの事業開催 朗読会「加藤武口演&トーク」 日仏映画祭
 〈活動内容〉
 春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回 特設展
 関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク
 【閲覧室事業】〈資料の保存と公開〉
 資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供 ・土橋治重一人と作品—赤毛のアンと村岡花子・家族が語る作家の素顔・山梨県立文学館20年のあゆみ 命日にちなんだ資料紹介 ・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・方代忌・一葉忌・周五郎忌 書庫見学 6/27(63名)11/20
 【創作／作る】〈創作の場を提供〉
 〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H22年2月末発表
 【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉
 協会会員による常設展示室の解説ボランティアの育成 SPSやまなしによるアートツアーへの協力

平成20年度 観覧者集計及び施設利用集計 (H20.4.1 ~ H21.3.31)

観覧者集計 (年度計)							施設利用集計 (月計)														
区分	常設展	企画展			収蔵品展	計	4月	講堂		研修室		研究室		茶室		野外研修施設		計		閲覧室 入室者数	施設利用 者総計
		うち 特設展 すべての子どもたち へ 芥川龍之介 「蜘蛛の糸」	芥川龍之介の 手紙 敬愛す る友 恒藤恭 へ	飯田龍太展				件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
開館日数	307	32	53	53	59		11	2,902	26	1,576	3	15	6	330	1	6	47	4,829	653	5,482	
個人	一般	2,331	612	801	1,368	-	4,500	11	3,290	24	1,835	8	43	7	404	1	330	51	5,902	758	6,660
	大・高生	232	40	85	14	-	331	13	2,542	26	1,404	6	37	9	536	0	0	54	4,519	703	5,222
	中・小生	159	48	11	53	-	223	14	4,283	30	1,505	9	28	5	360	0	0	58	6,176	924	7,100
	計	2,722	700	897	1,435	-	5,054	12	3,771	26	1,017	11	57	5	158	1	100	55	5,103	1,082	6,185
団体	一般	151	18	74	170	-	395	17	3,533	27	1,297	4	31	8	765	10	634	66	6,260	750	7,010
	大・高生	60	1	0	0	-	60	16	4,122	28	1,414	7	33	7	641	33	1,131	91	7,341	797	8,138
	中・小生	151	3	0	0	-	151	26	6,663	30	1,971	8	25	10	822	4	16	78	9,497	1,064	10,561
	計	362	22	74	170	-	606	9	1,861	17	871	3	12	4	311	1	4	34	3,059	460	3,519
共通・券美	一般	2,635	567	-	-	-	2,635	9	1,418	15	681	7	30	5	264	0	0	36	2,393	555	2,948
	大・高生	245	63	-	-	-	245	13	2,516	21	999	8	34	6	117	3	12	51	3,678	677	4,355
	中・小生	498	130	-	-	-	498	14	4,423	20	890	5	35	7	455	3	12	49	5,815	558	6,373
	計	3,378	760	-	-	-	3,378	計	165	41,324	290	15,460	79	380	79	5,163	57	2,245	670	64,572	8,981
4館共通 観覧券	一般																				
	大・高生	237	59	101	138	-	476	総計													
	中・小生							27,270	人	+	73,553	人	=	100,823	人						
	計	237	59	101	138	-	476														
期文学 観覧館 券定	一般																				
	大・高生	39	19	10	8	-	57														
	中・小生																				
クーポン	427	0	0	132	-	559															
教育課程	393	1	32	42	-	467															
無料観覧者	7,983	1,956	2,064	4,313	2,313	16,673															
合計	15,541	3,517	3,178	6,238	2,313	27,270															
一日平均観覧者	51	110	60	118	39																

【無料観覧者内訳】

無料 観覧者	高齢者	3,872	323	410	1,178	-	5,460
	身障者	467	64	113	144	-	724
	学生土曜日	513	26	231	126	-	870
	教育課程個人 小・中生	98	0	68	6	-	172
	教育課程団体 小・中生	135	0	68	0	-	203
	夏休みフリーパ スポート	633	608	-	-	-	633
	招待者	713	624	491	819	-	2,023
	県民の日	463	-	-	684	-	1,147
	業務視察者	1,089	311	683	1,356	-	3,128
	計	7,983	1,956	2,064	4,313	2,313	16,673

施設利用者状況（平成17年度～平成20年度）

※観覧者数と施設利用者の合計

	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)
4月	6,050	26	232.7	4,936	27	182.8	6,692	27	247.9	6,566	27	243.2	5,292	27	196.0
5月	8,897	27	329.5	8,281	29	285.6	12,569	29	433.4	10,245	29	353.3	11,951	29	412.1
6月	7,885	26	303.3	9,499	26	365.3	10,166	26	391.0	7,329	25	293.2	11,149	25	446.0
7月	6,878	27	254.7	10,602	26	407.8	9,582	26	368.5	8,936	27	331.0	8,691	27	321.9
8月	6,890	26	265.0	8,853	28	316.2	10,887	28	388.8	9,001	27	333.4	7,495	26	288.3
9月	7,012	26	269.7	8,620	29	297.2	7,639	26	293.8	8,833	25	353.3			#DIV/0!
10月	9,330	26	358.8	11,789	29	406.5	15,530	29	535.5	11,581	29	399.3			#DIV/0!
11月	13,627	25	545.1	13,953	27	516.8	14,668	26	564.2	16,040	26	616.9			#DIV/0!
12月	4,702	22	213.7	5,912	22	268.7	5,253	22	238.8	4,016	22	182.5			#DIV/0!
1月	4,852	21	231.0	5,650	21	269.0	4,605	21	219.3	3,885	21	185.0			#DIV/0!
2月	10,481	24	436.7	7,580	24	315.8	11,147	25	445.9	6,419	23	279.1			#DIV/0!
3月	9,714	27	359.8	8,711	29	300.4	8,938	26	343.8	7,972	26	306.6			#DIV/0!
年間合計	96,318	303	3,800.1	104,386	317	3,932.2	117,676	311	4,470.8	100,823	307	3,876.8	44,578	134	#DIV/0!

県立文学館 近年の決算額

単位:千円

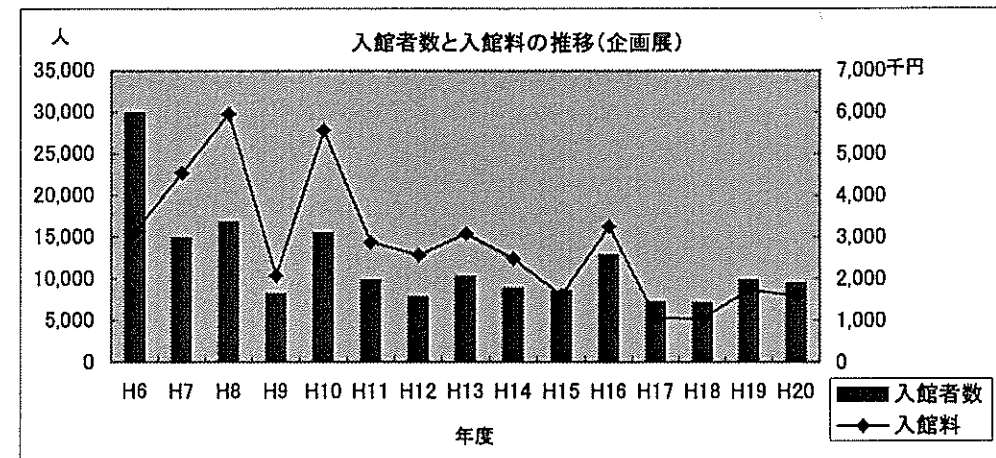
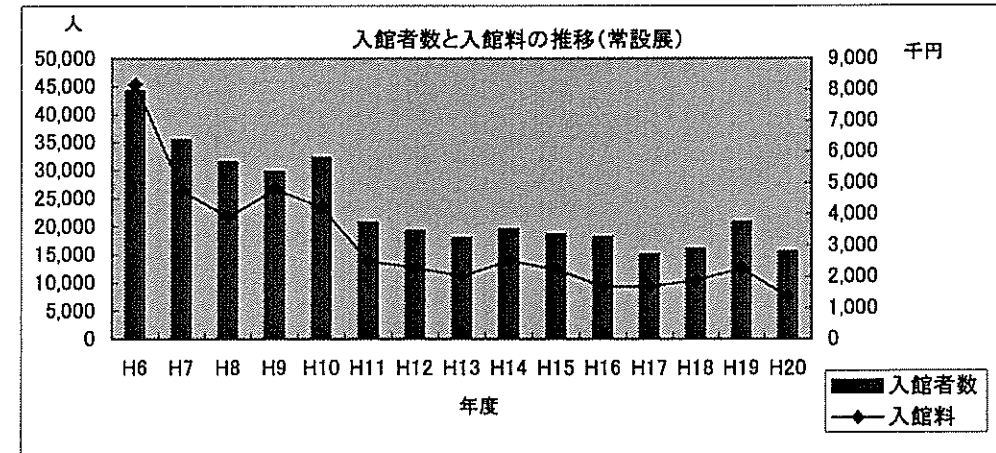
収入	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	摘要
入館料・施設使用料	8,925	6,972	7,386	8,345	7,707	入館料、貸館使用料
行政財産使用料	483	494	494	423	424	喫茶、売店、電柱等
その他	491	44	451	292	341	資料複写料等
合計	9,899	7,510	8,331	9,060	8,472	

単位:千円

支出	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	摘要
人件費	189,407	163,550	162,987	158,436	157,465	非常勤嘱託等含む
管理運営経費	153,990	137,539	121,136	111,359	105,559	
合計	343,397	301,089	284,123	269,795	263,024	

常設展			企画展		
年度	入館者数	入館料	年度	入館者数	入館料
H6	44,279	8,177	H6	29,874	3,128
H7	35,409	4,761	H7	14,885	4,539
H8	31,536	3,896	H8	16,804	5,956
H9	29,730	4,793	H9	8,205	2,075
H10	32,209	4,205	H10	15,433	5,563
H11	20,652	2,483	H11	9,832	2,874
H12	19,258	2,274	H12	7,786	2,565
H13	17,901	2,013	H13	10,259	3,082
H14	19,487	2,522	H14	8,805	2,480
H15	18,641	2,233	H15	8,535	1,617
H16	18,117	1,679	H16	12,790	3,259
H17	15,008	1,671	H17	7,232	1,067
H18	16,084	1,890	H18	7,116	1,045
H19	20,730	2,258	H19	9,795	1,741
H20	15,541	1,355	H20	9,416	1,594

※企画展の入館者数、入館料は年間の総数。



教育普及事業 実施状況(平成17年度～平成21年度)

		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年 9月末現在
企画展関連 講演会・講座	回数	5	6	8	9	5
	人数	770	1192	828	1534	1087
	平均人数	154	199	104	171	218
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	24	16	16	16	10
	人数	805	1285	1311	1252	928
	平均人数	34	81	82	79	93
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	7	8	6	6	3
	人数	468	481	302	312	223
	平均人数	67	61	51	52	75
文学のつどい	回数	1	1	1	1	1
	人数	152	178	63	50	60
	平均人数	152	178	63	50	60
朗読鑑賞会	回数	3	3	2	1	1
	人数	985	647	592	230	500
	平均人数	329	216	296	230	500
映画鑑賞会	回数	10	6	6	6	3
	人数	1161	1405	1338	1390	745
	平均人数	117	235	223	232	249
子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	1
	人数	216	377	303	349	174
	平均人数	108	189	152	175	174
子どもワークショップ (朗読教室・詩作教室・ 俳句教室)	回数	5	5	2	1	1
	人数	127	78	44	35	30
	平均人数	26	16	22	35	30
子どものための朗読等 親子ほのぼの朗読会	回数	4	4	3	3	2
	人数	254	226	180	153	156
	平均人数	64	57	60	51	78
チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中		228	538	584	650
	大人		79	168	189	114
	合計		307	706	773	764
文学散歩	回数	2	2	2	2	
	人数	88	88	89	89	
	平均人数	44	44	45	45	
読書会	回数		10	10	10	5
	人数		114	120	113	52
	平均人数		12	12	12	11
小・中・高等学校・大学 文学解説・教室	回数	43	38	31	31	30
	人数	3117	1279	1790	994	1233
	平均人数					
小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	8	8	7	3	6
	人数	579	447	720	190	696
	平均人数					
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	11	13	10	16	9
	人数	475	777	902	597	486
	平均人数					

閲覧室の利用

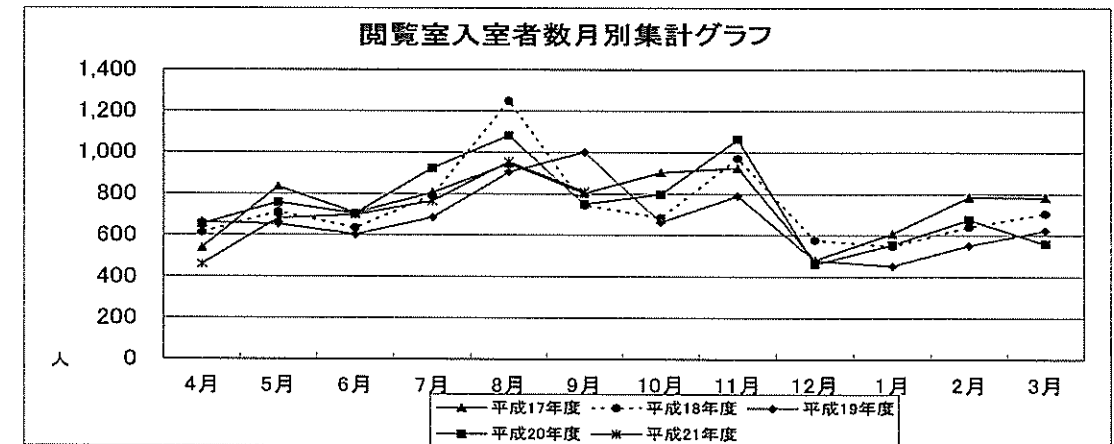
- (1) 所蔵資料の閲覧
- (2) 文献検索システム・OPAC 横断検索による書誌情報の検索
- (3) 調査相談(レファレンスサービス)、複写サービス
- (4) 閲覧室資料紹介、書庫見学

閲覧室利用状況(内訳)

	開館日数	入室者	閲覧カード 発行数	閲覧者 数	閲覧冊数	調査相 談	電子式 複写枚数	マイクロ 複写枚数	画像検索 回数	資料紹介 冊数
平成17年度	303	9,120	83	366	2,607	551	4,756	33	776	450
平成18年度	311	8,869	121	320	2,264	608	5,945	52	947	284
平成19年度	311	8,086	124	418	3,792	420	8,403	2	1,036	312
平成20年度	307	8,981	111	375	1,877	616	7,912	113	703	418
平成21年度	160	4,368	71	225	1,224	285	2,641	52	374	149

閲覧室入室者(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成17年度	538	835	707	806	946	803	903	925	481	608	785	783	9,120	30
平成18年度	612	713	634	791	1,249	745	684	971	576	548	641	705	8,869	29
平成19年度	663	653	603	685	904	1,001	682	791	479	453	552	622	8,068	26
平成20年度	653	758	703	924	1,082	790	797	1,064	460	555	677	558	8,981	29
平成21年度	459	680	698	765	955	811							4,368	27



ホームページアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成17年度	2,057	2,483	2,259	2,320	2,499	2,657	2,370	2,545	2,630	2,079	2,356	2,237	28,492	94
平成18年度	2,315	2,564	2,512	2,620	3,020	2,745	3,080	2,700	2,152	2,576	3,037	3,131	32,452	104
平成19年度	2,459	2,799	3,105	2,623	2,638	2,363	3,127	2,549	2,239	2,197	2,688	2,218	31,005	100
平成20年度	2,444	2,689	2,343	2,744	2,620	2,271	2,692	2,542	1,871	2,159	2,670	2,390	29,435	96
平成21年度	2,783	4,094	3,967	2,949	2,724	2,677							19,194	105

*平成20年度までは 合計/開館日数=1日平均アクセス数。平成21年度から 合計/年間日数=1日平均アクセス件数。
**今年度は 合計/4~9月までの日数(183日)で算出。

複写枚数(マイクロも含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成17年度	437	956	504	490	398	405	371	255	243	83	121	526	4,789	16
平成18年度	288	475	530	475	272	759	142	382	513	366	1,078	717	5,997	19
平成19年度	1,729	1,343	943	308	390	773	709	681	614	228	365	322	8,405	27
平成20年度	282	2,418	269	785	752	444	503	787	747	322	419	297	8,025	26
平成21年度	462	292	612	523	613	191							2,693	17

調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成17年度	20	42	59	63	54	44	36	45	36	43	52	57	551	2
平成18年度	49	74	49	40	50	52	44	54	39	38	53	66	608	2
平成19年度	34	31	29	28	51	28	40	33	31	29	35	51	420	1
平成20年度	67	61	54	62	36	48	61	60	37	41	36	53	616	2
平成21年度	47	41	45	47	43	42							265	2

□県立文学館開館20周年記念事業について

○開館20周年記念企画展の開催（別紙一覧参照）

- ・太宰治展 生誕100年
- ・樋口一葉と甲州

平成21年5月2日(土)～6月28日(日)
平成21年9月19日(土)～11月23日(月)

入館者数 7,544人
入館者数 1,129人(10月1日現在)

○開館20周年記念特設展

- ・H. C. アンゼルセン 人魚のお姫様 青い瞳の涙

平成20年7月18日(土)～8月23日(日)

入館者数 1,921人

○収蔵名品展

平成21年12月2日(水)～平成22年2月28日(日)

○常設展示室の改修

- ・リニューアルオープン：一般公開 平成22年2月2日(火)～
オープニングセレモニー

開催予定 平成22年2月1日(月)

開催場所 常設展示室入り口

- ・飯田蛇笏・飯田龍太記念室を新設
- ・第I室に樋口一葉コーナー新設
- ・本県出身・ゆかり作家の顕彰機能拡充
- ・展示機能の充実・ソフ事業拡充

○記念講演会開催

- ・開催予定 平成22年2月6日(土)
- ・開催場所 文学館講堂
- ・講師 (交渉中)

○資料購入

- ・楠木清方画幅 一葉作「たけくらべ」大黒屋の美登利 27×24 共箱 一幅

□平成21年度における新たな取組

○教育普及事業の美術館、文学館の連携

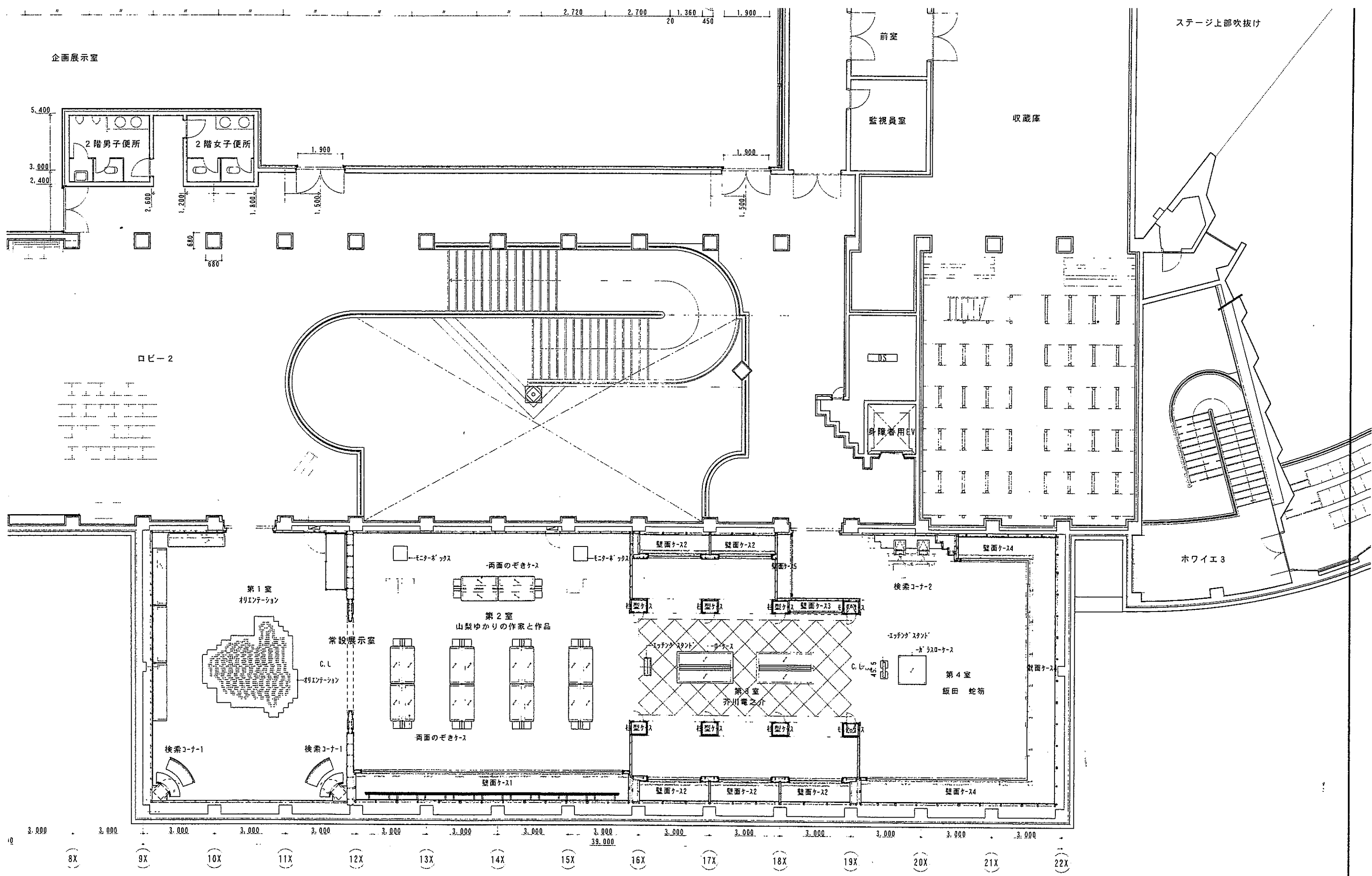
- ・新田小、富竹中へのあいさつ回り
- ・地区ごとに開催の校長会に担当が出向いたり、甲府市・甲斐市を重点地区とした学校訪問を手分けで実施

○広報活動における美術館、文学館の連携

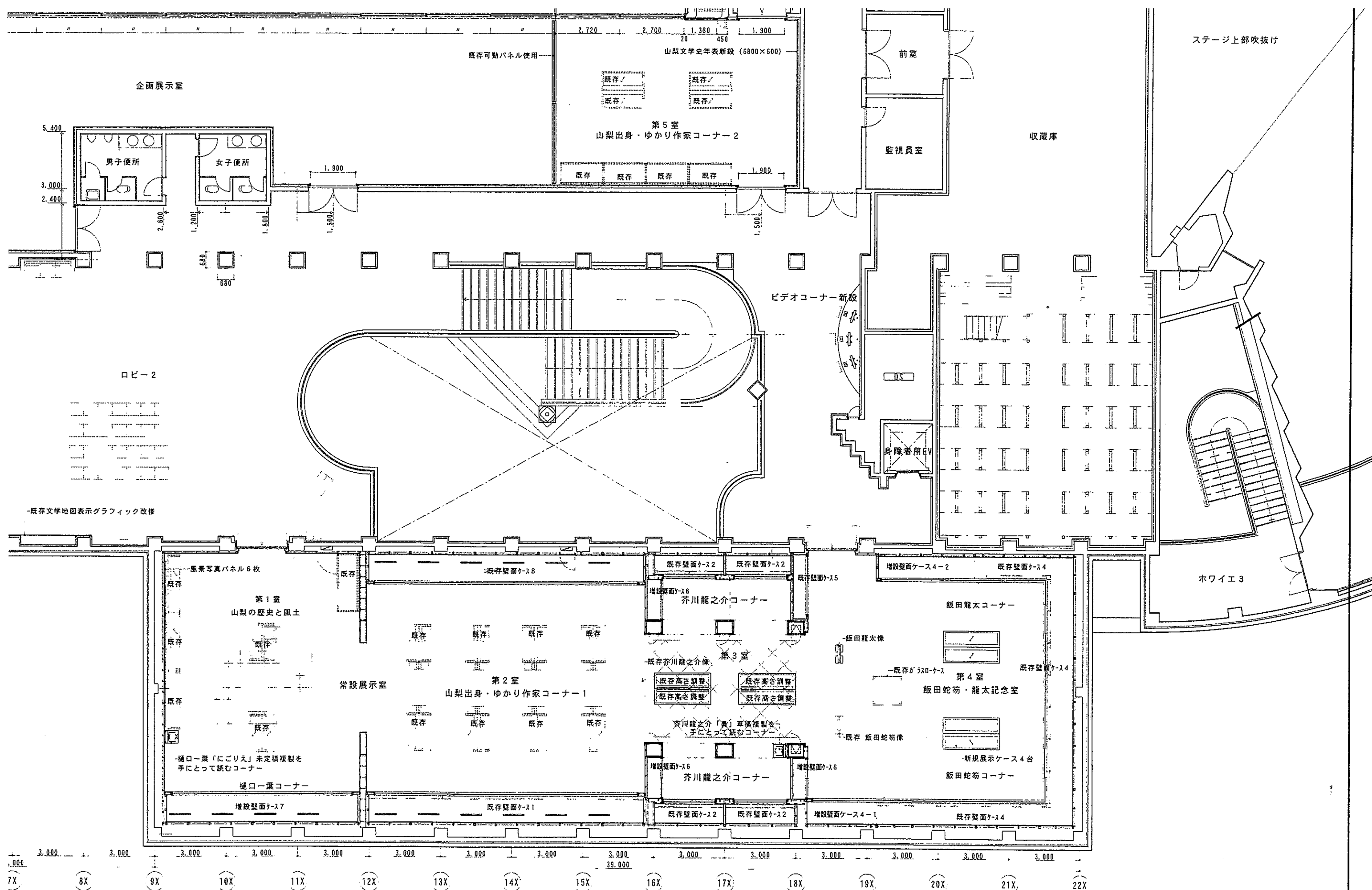
- ・観光会社、エージェンツ担当者あてにメール作戦
- ・観光推進機構との連携による旅行企画の実施

平成21年度 企画展・特設展など

	展覧会名	会期	日数	料金 単位:円	内 容	備 考
1	開館20周年記念企画展 太宰治展 生誕100年	平成21年5月2日(土) ～6月28日(日)	52日間	一般 600(480) 大・高生 400(320) 中・小生 250(200)	生誕百年を迎える太宰治(1909～1948)。太宰は、1938(昭和13)年秋、井伏鱒二の誘いにより山梨県御坂峠の天下茶屋を訪れ、新たに執筆活動を繰り広げます。翌年一月、甲府市の石原美知子と結婚し、八月まで甲府市御崎町(現朝日五丁目)の新居で過ごし、「富嶽百景」「女生徒」などの佳品を生み出しました。三鷹に転居した後も、たびたび山梨を訪れています。本展では、「斜陽」「人間失格」などの代表作を残した太宰の全体像を紹介しつつ、山梨に残した足跡に焦点をあてました。	
2	開館20周年記念特設展 H.C.アンデルセン 人形のお姫さま—青い瞳の涙—	平成21年7月18日(土) ～8月23日(日)	32日間	常設展観覧料	デンマークの童話作家・詩人のハンス・クリスチャン・アンデルセンの童話「人魚のお姫さま」(「人魚姫」)の世界を、あらすじをたどりつつ、石倉欣二の挿絵パネル、交響詩「人魚姫」のBGMなどとともに、多角的に紹介しました。アンデルセンを翻訳、日本に紹介した矢崎源九郎(山梨県南アルプス市出身 北欧文学者・言語学者)の業績もあわせて展示しました。夏休み期間中の子供向け展示と位置づけ、ワークショップコーナーでは、子どもたちが自由に物語の絵を描き、登場人物へ手紙を書く一角を設けて、作品を掲示しました。	
3	開館20周年記念企画展 樋口一葉と甲州	平成21年9月19日(土) ～11月23日(月)	59日間	一般 600(480) 大・高生 400(320) 中・小生 250(200)	樋口一葉(1872～1896)は24年と8ヶ月の短い生涯の中で、「たけくらべ」「にごりえ」をはじめとする名作を残しました。一葉の両親は、中萩原村(現 山梨県甲州市塩山)の農家に生まれ、幕末の江戸に出て幕府直参の武士となって、立身の夢を実現していきました。本展では、一葉と甲州との関わりを、両親・祖父をはじめ、一葉をめぐる甲州の人々との絆、また、「ゆく雲」をはじめとする甲州を舞台にした作品に焦点をあてて紹介します。	
4	収蔵名品展	平成21年12月2日(水)～ 平成22年2月28日(日)	66日間	常設展観覧料	樋口一葉・芥川龍之介・飯田蛇笏・太宰治など常設展で紹介している山梨出身・ゆかりの作家をはじめ、開館以来収集してきた日本文学を代表する選りすぐりの資料・名品を一挙に公開します。	11月25日～1月31日は、常設展示室がリニューアル工事のため閉室。



498	文学館展示リニューアル工事		
	2階 既存平面		
A003	S=1/100	09.08.25	功刀
	大宇根建築設計事務所		



-既存文学地図表示グラフィック改修

498	文学館展示室リニューアル工事		
	2階改修平面図		
A004	S=1/100	09.08.25	功刀
	大宇根建築設計事務所		

件名	文学資料の購入について
内容	<p>○資料名・数量 資料名 鏑木清方面幅 樋口一葉作「たけくらべ」大黒屋の美登利 数量 1幅 共箱 絹本 着色 価格 2,954,490円（消費税等含む）</p> <p>○概要 「たけくらべ」は、樋口一葉（1872～1896）が、雑誌「文学界」に明治28年1月～明治29年1月の間、7回にわたって連載した小説。一葉の代表作でかつ、近代文学の名作の一編に数えられる作品であり、森鷗外・幸田露伴の称賛を受けた。 主人公の美登利は、吉原遊郭の大黒屋で大切に育てられた美しい少女である。物語は、美登利と、龍華寺の跡取りの少年信如との淡い恋心を軸に、吉原の四季の風俗を背景に、大人の世界に足を踏み入れていく十代の少女少女たちの心情が繊細に語られている。 鏑木清方（1878～1972）は、十代で水野年方門に入って挿絵画家・日本画家として活躍、年少の頃から一葉の作品を愛読し、しばしば作品のモチーフとして取り上げている。 今回の資料は、「たけくらべ」の最後、信如が遠くの寺へ修業に旅立つ日の霜の朝、美登利の部屋の格子に誰の仕業とも知れずに、水仙の造花が置かれていたという場面を描いたものである。</p> <p>○資料の収蔵意義と活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学館では、樋口一葉を最も重要な作家のひとりとして資料収集に努めている。館には、一葉自筆の「たけくらべ」の原稿等708点を収蔵している。今回の購入資料は、これらと併せ一葉の魅力を伝える上で、最も重要な一級の資料の一点となる。また、さらに今後の展示・公開・教育普及に大いに活用が期待され、他県からも見学のツアー計画・申込みの増加など、観光振興の一助になると考えられる。 現在、開館20周年記念事業の企画展「樋口一葉と甲州」（会期 平成21年9月19日～11月23日）展で、公開中。
経緯	<p>○ 県立文学館では、樋口一葉の両親が甲州大藤村（現甲州市）の出身であることから、山梨ゆかりの作家として、開館当初から関連資料の収集に努めてきた。</p> <p>○ 常設展示室は樋口一葉コーナーを設けるほか、平成2年度に企画展「樋口一葉の世界」を、平成15年度に樋口一葉の小説「にぎりえ」未定稿36枚を購入し、開館15周年記念として「樋口一葉展Ⅰ」及び「樋口一葉展Ⅱ」を開催した。</p>



【平成21年度事業について】

1 企画展

(1) 春の企画展・関連事業

ア 企画展示

「太宰治 生誕100年」

会期 平成21年5月2日(土)～6月28日(日) 52日間

観覧者数 7544人 (1日平均 145人)

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/10 (日)	講演会	「美知子夫人『回想の太宰治』から見えてくるもの」	安藤宏 (東京大学准教授)	180人
5/23 (土)	朗読会	NHK朗読シアター 「太宰治が愛した甲州」	児玉清(俳優) NHKアナウンサー	470人
5/31 (日)	講演と対談	「太宰治の「私」」 「太宰治について」	東郷克美 (近代文学研究者) 重松清(作家)	310人
6/13 (土)		「太宰治と井伏鱒二の手紙 展示資料より」	中野和子 (当館学芸員)	101人
6/18 (木)		「教師のための学習会」	保坂雅子 (当館学芸員)	26人

(2) 秋の企画展・関連事業

ア 開館20周年記念 企画展示

「樋口一葉と甲州」

会期 平成21年9月19日(土)～11月23日(月) 59日間

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
10/3 (土)	文学講座	「樋口一葉と、祖父八左衛門・父則義の世界の接点」	野口碩 (一葉研究者)	
10/17 (土)	講演と対談	「樋口一葉の志」	山田有策 (東京学芸大学名教授) 菅聡子 お茶の水女子大学教授	
11/3 (月)	講演会	「『雨の萩』から～一葉の妹 邦子～」	青木玉 (随筆家)	

11/8 (木)	文学講座 「一葉の甲州への手紙」	古守やす子 (当館教育主事)	
11/22 (日)	文学講座 「一葉、晶子そして現代短歌」	三枝浩樹(歌人) 歌誌「沃野」主宰 山梨県歌人協会会長	
10/8 (木)	「教師のための学習会」	古守やす子 (当館教育主事)	
11/1 11/8	「樋口一葉ゆかりの地をめぐる文学散歩」	NPO協働事業	

2 常設展・特設展

(1) 常設展

第1室 「富士山と文学」

4/1～7/26

「秋山秋紅夢の世界」

7/28～11/23

第2室 山梨出身・ゆかりの作家20コーナーのほか、一部を前後期に入れ替え展示

第3室 芥川龍之介コーナー

「芥川龍之介資料集」掲載資料を、6～8週間ごとに入れ替え展示

第4室 飯田蛇笏コーナー

それぞれの季節を中心とした資料に入れ替え展示

(2) 特設展

H.C.アンデルセン 「人魚のお姫さま」～青い瞳の涙～

ア 会期 平成21年7月18日(土)～8月23日(日) 32日間

観覧者数 3027人(1日平均 95人)

イ 特設展関連事業

月日	事業名	講師	参加者数
7/26 (日)	特設展関連子ども映画会 カラーアニメ「マッチ売りの少女」「裸の王様」 「みにくいあひるの子」		174人
8/8 (土)	親子ほのぼの朗読会 「ねずみ経」「ミネさんと二個の干し柿」 「みにくいあひるの子」「外郎売り」 「甲府くうしゅうの話 かみず」	朗読・表現 さざなみの会	43人
8/22 (土)	朗読鑑賞会 矢崎滋の世界	矢崎滋	500人
会期中 毎日	絵・手紙をかこう (展示室内の壁に展示)		985人

3 教育普及事業(企画展・特設展関係を除く)

(1) 年間文学講座

期 間	事業名 演題	講師 (職名)	参加者数
5/15 6/19 7/24 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18	文学講座1 研修室 5回終了 万葉集の歌を楽しむ(4) 金曜日 14:00~15:30	鈴木武晴 (都留文科大学教授)	521人 (5回)
5/2 6/6 7/11 8/1 9/12 10/10 11/28 12/12	文学講座2 研修室 5回終了 多面体としての川端文学 土曜日 14:00~15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)	407人 (5回)
6/25 7/30 8/27 10/22 11/12 12/10	文学講座3 研修室 3回終了 山梨の文学 木曜日 14:00~15:10	文学館職員	223人 (3回)

(2) 文学のつどい

期 日	演 題	講師 (職名)	参加者数
6/20 (土)	「新聞小説の愉しみ」 「「暦」の事情を知らば和歌が面白くなる」	関 肇(京都光華女子大学教授) 松本章男 (著述業・随筆家)	60人

(3) 名作映画鑑賞会

月 日	題 名	原 作 者	参加者数
4/19 (日)	「二十四の瞳」	原作 壺井栄 監督 木下恵介	205人
6/28 (日)	「路傍の石」	原作 山本有三 監督 家城巳代治	370人
7/26 (日)	特設展関連カラーアニメ 「マッチ売りの少女」「裸の王様」 「みにくいアヒルの子」	原作 アンデルセン	174人
9/6 (日)	「雨月物語」	原作 上田秋成 監督 溝口健二	170人

10/25 (日)	「にごりえ」	原作 樋口一葉 監督 今井正	
11/29 (日)	「用心棒」	原作 菊島隆三・黒澤明 監督 黒澤明	
3/14 (日)	子ども映画会カラーアニメ 「注文の多い料理店」「度十公園林」	原作 宮澤賢治	

(4) 俳句創作プログラム

月 日	事 業 名	講 師	参加者数
8/7 (土)	子ども俳句創作プログラム	保坂敏子 (俳誌「白露」編集同人 山梨日日新聞俳句欄選者)	30人
2/	大人の俳句教室	長田群青 (俳誌「白露」編集同人)	

(5) 読書会

月 日	著 者	作 品 名	参加者数
5/16 6/21 7/19 8/22 9/19 10/18 11/14 12/6 1/30 2/21	李 良枝 太宰治 芥川龍之介 辻邦生 保坂和志 福田甲子雄 樋口一葉 林真理子 山本周五郎 新田次郎	「由熙」 「新樹の言葉」「火の鳥」 「奉教人の死」 「嵯峨野明月記」 「生きる歓び」 「蛇笏・龍太の旅心」 「たけくらべ」 「女文士」 「青べか物語」 「八甲田山」「凍傷」	52人 (5回)

(6) 親子ほのぼの朗読会 (素心菴)

開催日	題 材 名	講 師	参加者数
5/30 (土)	「心に太陽を持って」「くもの糸」 「ややこしや、ややこしや〜」 「寿限無・じゅげむ〜」「走れメロス」	溝口朗読サークル	113人
8/8 (土)	「ねずみ経」「ミネさんと二個の干し柿」 「みにくいあひるの子」「外郎売り」 「甲府くうしゅうの話 かみず」	朗読・表現 さざなみの会	43人
10/24 (土)	「のはらむら“あき”」 「どんぐりころころ」「大きな栗の木の下で」 「月の夜」ゆびぬき手あそび	朗読の会すずらん	

(7) チャレンジ・夏休みチャレンジ文学館(4月～9月30日)

幼児	21人	小学生	354人
中学生	275人	高校生	0人
大人	114人	合計	764人

(8) ジュニアインターンシップ(職場体験学習)

7月28日～30日までの3日間	学芸員実習
高等学校生 1名	7月7日～12日までの6日間
	大学生 3名

(9) 文学解説・各種講師派遣事業(4月～9月30日)

ア 文学解説・教室

小学校	のべ5校		
中学校	17校		
高等学校	2校		
大学	5校	小中高大	613人
一般	33団体	一般	403人

イ 文学解説・講師派遣

小学校	2校		
中学校	1校		
高等学校	2校	小中高	696人
一般	9団体	一般	486人

4 やまなし文学賞

やまなし文学賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定されました。山梨県の文化振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門が設けてあります。

選考委員 小説部門： 三浦哲郎・阪上 弘・津島佑子
研究・評論部門： 菅野昭正・高田 衛・十川信介

21年2月 選考会
3月中旬 表彰式
6月 第17回小説部門受賞作単行本刊行

5 その他(季節の行事に寄せて)

6/7(日) 早苗寄席	20人
7/26(日) 走れ紙芝居	90人
8/2(日) 走れ紙芝居	50人

平成21年度 閲覧室資料紹介

1 目的

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、魅力ある閲覧室づくりを行う。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進及び資料収集の推進を図ることを目的とする。

2 場所 閲覧室

3 対象 一般県民

4 内容

展示名及び概要	展示期間
土橋治重 一人と作品 山梨市に生まれた土橋治重は、15歳から24歳までアメリカで生活。戦後「日本未来派」に入会し、本格的な詩作に入る。昭和36年に詩誌「風」を創刊し、多くの詩人を育てた。生誕百年を記念し、詩集や歴史小説などの著作を紹介する。	平成21年4月16日(木) ～ 6月25日(木)
赤毛のアンと村岡花子 永遠のベストセラー『赤毛のアン』を初めて日本に紹介した翻訳家・村岡花子。甲府市生まれ、山梨英和女学校で英語教師を務めたこともあり、本県とのゆかりも深い。『赤毛のアン』を始めとする作品の数々を紹介する。	平成21年7月1日(水) ～ 9月25日(金)
家族が語る作家の素顔 名作は、家族の大きな支えにより誕生したのかもしれない。あるいは、その陰に、家族の犠牲があったのかもしれない。芥川龍之介や太宰治など、作家の知られざる素顔や日常生活を、家族の著作から紹介する。	平成21年10月1日(木) ～ 12月13日(日)
山梨県立文学館20年のあゆみ 平成元年11月に開館した山梨県立文学館。展示室のリニューアル等を経て、文学館は新たな一歩を踏み出す。文学館の20年のあゆみを、企画展図録を始めとする当館出版物や、新聞切り抜き等の資料で振り返る。	平成22年1月2日(土) ～ 4月11日(日)

*企画展開催時期には、閲覧室内にコーナーを設け関連資料の紹介を行う。

平成21年度 文学者の命日にちなんだ資料紹介計画

本県出身・ゆかりの文学者を紹介し、身近に感じてもらうことを目的にロビーにガラスケースを配置して関連資料を紹介し、展示室・閲覧室への誘導をはかる。

展示名	展示期間	備考
李良枝 (5/22ナビ忌)	平成21年5月1日(金) ～5月24日(日)	
太宰治 (6/19桜桃忌)	平成21年6月5日(金) ～6月28日(日)	企画展 5/2～6/28
芥川龍之介 (7/24河童忌)	平成21年7月15日(水) ～7月26日(日)	
山崎方代 (8/19方代忌)	平成21年8月7日(金) ～8月23日(日)	
樋口一葉 (11/23一葉忌)	平成21年9月19日(土) ～11月29日(日)	企画展 9/19～11/23
山本周五郎 (2/14周五郎忌)	平成22年2月5日(金) ～2月26日(金)	